

平成26年度

# 飯豊町の予算のあらまし



## 目次 contents

- 1 予算について
- 2～4 一般会計の歳入、歳出
- 5～11 特徴的な事業について
- 12 地域づくり推進事業
- 13 行財政改革の取り組み  
財政の健全度
- 14 町債残高の推移  
基金について

飯豊町の予算の使い道などを  
わかりやすくご説明します。

# ★ 予算について

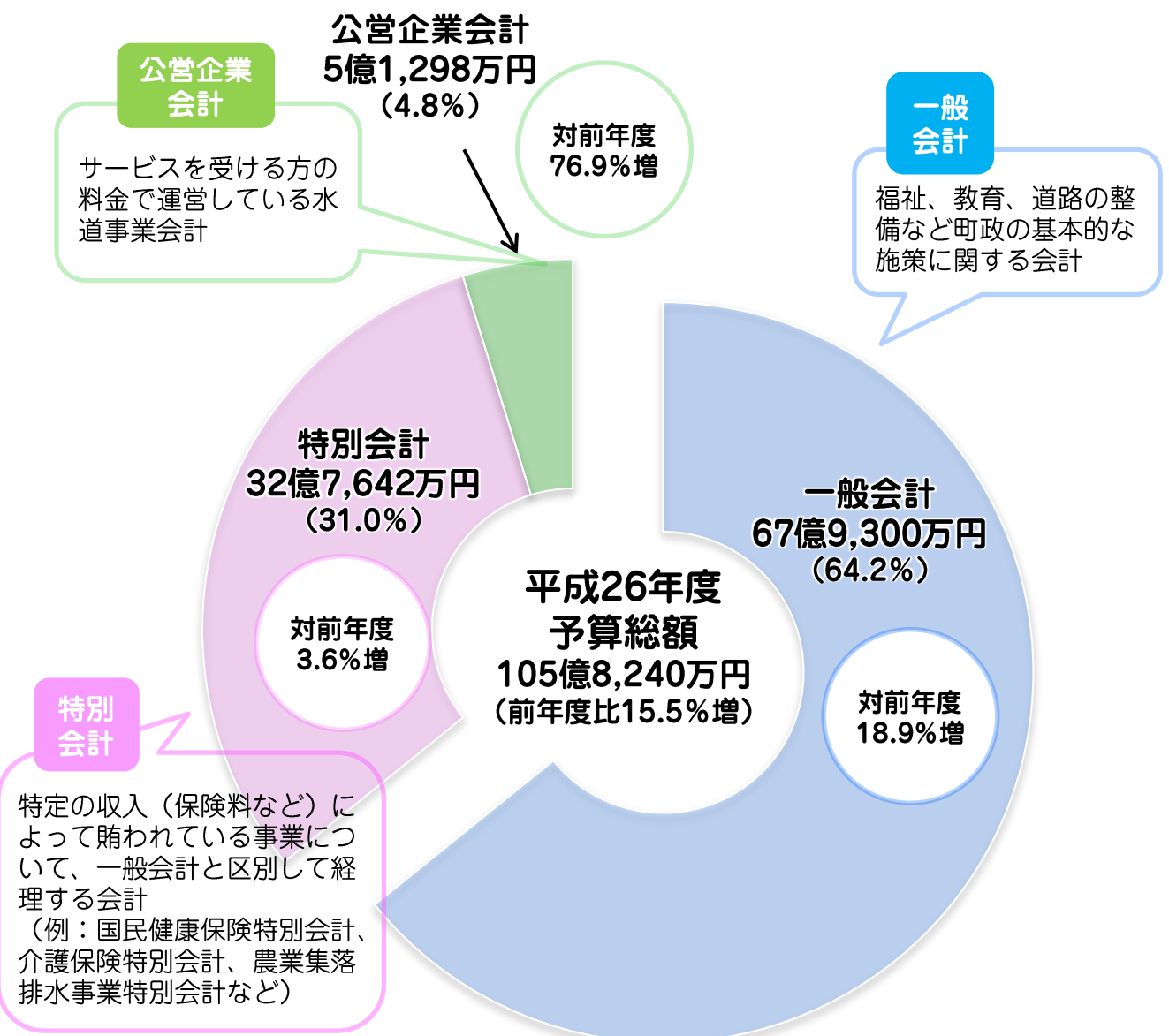
## 予算とは？

予算とは、1年間（4月から翌年3月まで）における収入と支出の見積りのことです。新しい年度が始まる前に、その1年間で、どのくらいの収入があるのか、1年間の行政サービスをどのように行うのかを計画し、そのために使うお金を見積もります。予算を見れば、1年間に飯豊町でどのような収入があり、何に使っているのかがわかります。

## 予算はどうやって決まる？

飯豊町では、地域における総合的かつ計画的な行政運営を図るため、基本構想、基本計画、実施計画、地区別計画から構成される第4次飯豊町総合計画に定めた目標を達成すべく、予算の編成を検討します。

その上で、財政計画や個別の公約などと照らし合わせて、町長が各課からの案を自分の考えにそって予算案をまとめ、町議会に提出します。町民を代表する町議会議員は、提案された予算案をいろいろな面から審議した上で、町議会の議決によって成立します。



# ★ 一般会計の歳入と歳出

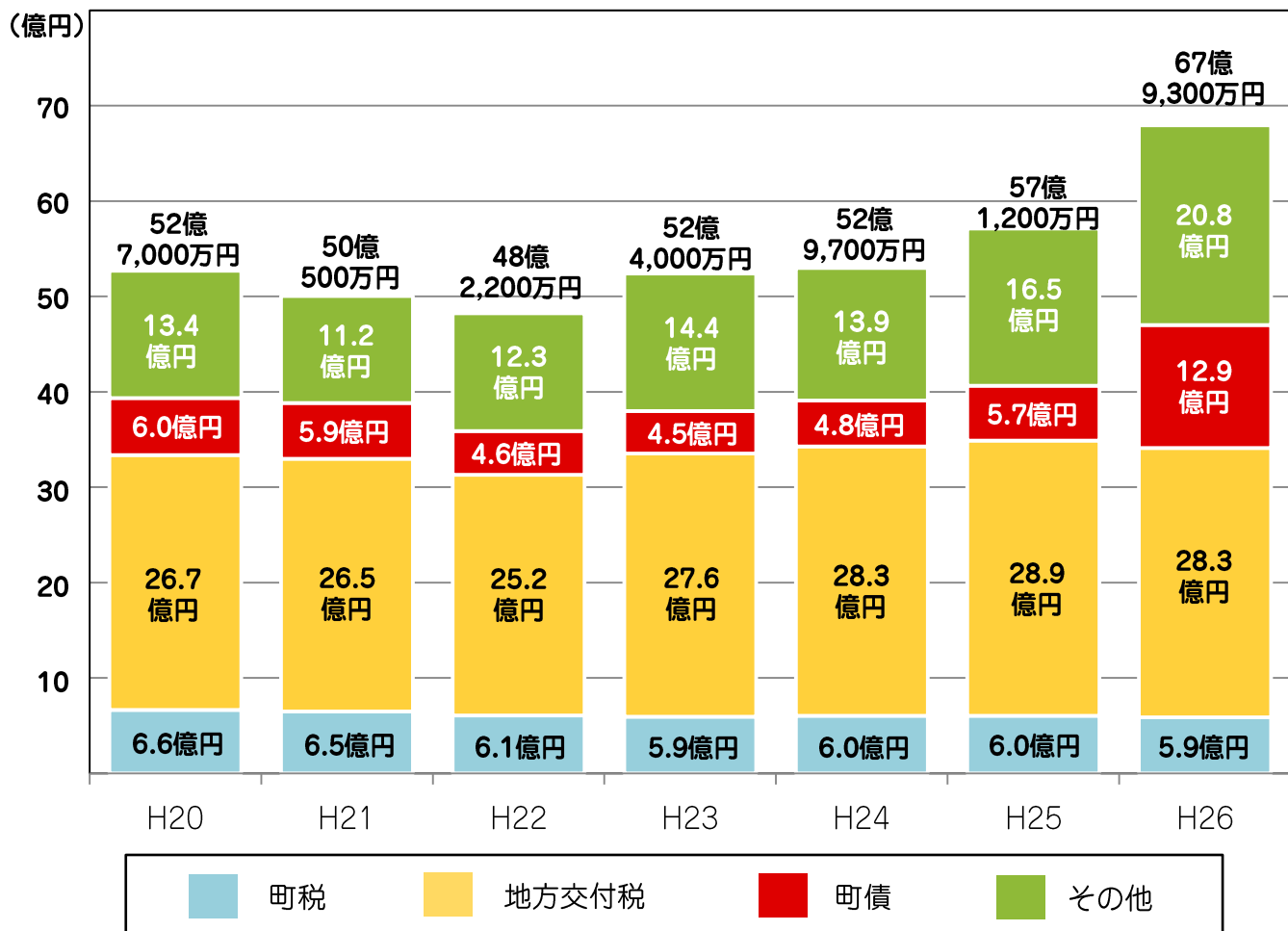
ここからは、暮らしや経済、福祉、教育、道路の整備など、町政の基本的な施策に係る会計のうち、町民のみなさんの暮らしに特に関係の深い一般会計を中心に説明します。

## 歳入について

歳入は、町が自ら調達できる町税のほか、使用料や手数料、基金（貯金）からの取り崩し金などの「自主財源」と、地方交付税や国並びに県から特定の目的のために交付される交付金、町が国や金融機関から借り入れる町債の「依存財源」とに区分されます。飯豊町の場合は、財源の41.6%を国から交付される地方交付税に依存している状況です。

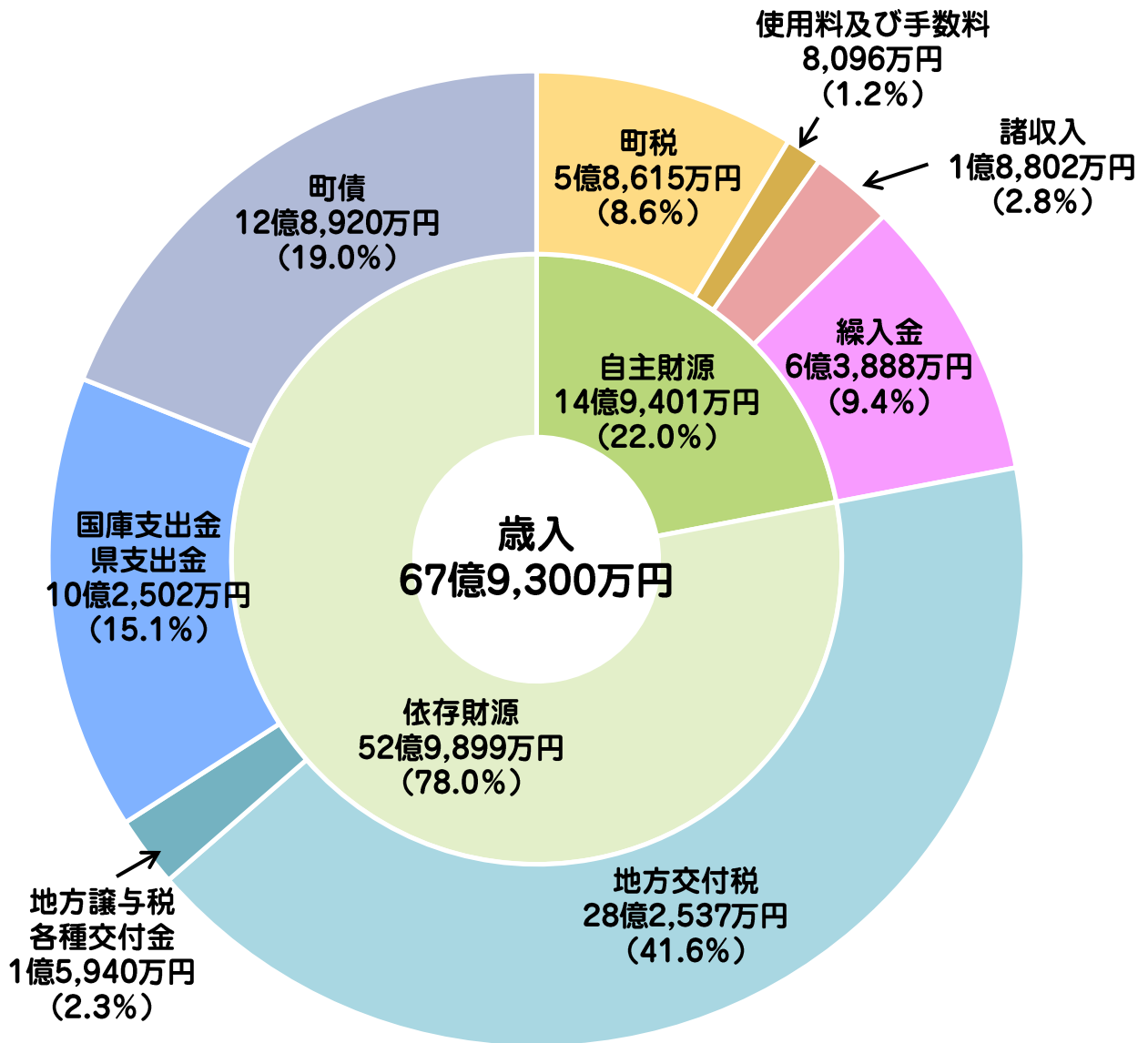
平成26年度は、第一小学校の改築事業などの投資的経費の増額により、前年度当初と比較して18.9%、10億8,100万円の増額となりました。前年度と比べて町税や地方交付税については減額となっているのに対し、基金からの取り崩しや町債などが大きくなっています。

## 歳入予算の推移





## 歳入の内訳



### 自主財源

#### 町税

飯豊町に納めていただく税金です。(町県民税、固定資産税、軽自動車税、市町村たばこ税、入湯税など)

#### 使用料及び手数料

町の施設の利用や、証明書を発行する際にいただいているお金です。

#### 繰入金

基金(貯金)の取り崩し金や特別会計から一般会計に繰り入れるお金です。

#### その他

前年度からの繰越金、寄附金、町の財産の貸付や売却などの収入です。

### 依存財源

#### 地方交付税

国に納めたお金の一部で、自治体の財政状況に応じて配分されます。

#### 地方譲与税・各種交付金

消費税の一定割合や、地方譲与税、利子割交付金など国や県に納めた税金の一部です。

#### 国・県支出金

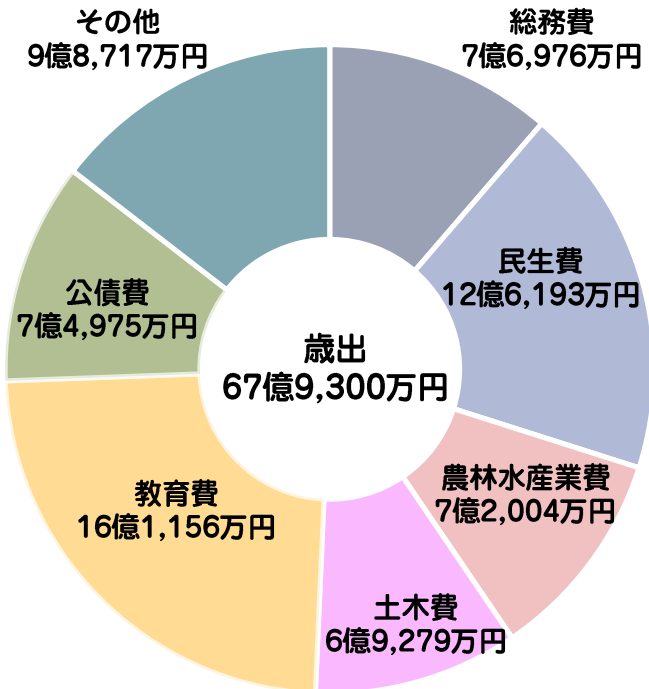
国や県から特定の目的に使用するためとして市町村へ交付されるお金です。

#### 町債

施設や学校、道路などの整備のため、町が国や金融機関から借り入れるお金です。

## 歳出について

### 目的別歳出予算の内訳



#### 民生費

中学3年生までの医療費無料化のためのお金や児童手当、お年寄りへの福祉、障がい者の方の支援のお金です。

#### 農林水産業費

米や野菜などの作物や畜産の振興、新規就農者への支援、森林の保全、木質ペレットの利用促進などのためのお金です。

#### 教育費

小中学校の学校環境の整備、スクールバスの運行、地区公民館、スポーツ施設の管理運営、文化財の保全、保護、もしくは文化振興などのためのお金です。

#### 公債費

町が国や金融機関から借り入れた借金（町債）の返済に必要なお金です。

#### 人件費

町の職員の給料や手当などを支払うためのお金です。

#### 物件費

光熱水費、消耗品費、通信運搬費、委託料などの支払いに必要なお金です。

#### 補助費等

各種団体への補助金や置賜広域行政事務組合、西置賜行政組合などへの負担金です。

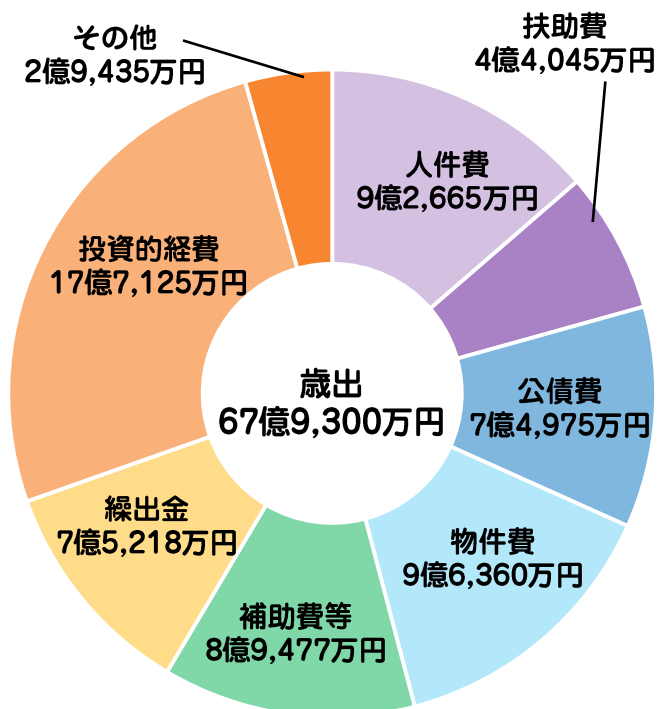
#### 繰出金

各特別会計（国民健康保険、介護保険、農業集落排水事業など）への繰出金です。

#### 投資的経費

道路や学校など公共施設の建設、改修、災害復旧に必要なお金です。

### 性質別歳出予算の内訳



今年度の町の主要な事業について、次のページから説明します

1

にぎわいあふれるまちづくり

地域づくり推進事業

担当

総務企画課  
総合政策室

平成26年度予算額

720万円

平成25年度予算額 720万円

第4次飯豊町総合計画に基づき、町内各地区では、地区の将来像や方向性を検討し、地区が主体的に取り組むべき将来に向けた重点事業、5年間で取り組むアクションプランの概要などを策定しました。

飯豊町では、これらの事業に対する補助を今年度も継続していきます。

(地域づくり推進事業補助金を活用した各地区の事業については12ページをご覧ください)



地区別計画策定時のワークショップの様子

子育て支援医療給付事業

担当

住民税務課  
住民室

平成26年度予算額

2,899万円

平成25年度予算額 3,082万円

町内にお住いの0歳児から中学3年生までの医療費の無料化のための予算を引き続き計上します。医療機関の受付窓口で「子育て支援医療証」を保険証と一緒に提示いただくと、医療費の自己負担分が無料となります。



いいですね定住推進事業

担当

総務企画課  
総合政策室

平成26年度予算額

1,077万円

平成25年度予算額 1,299万円

「飯豊町ふるさと定住いいですね条例」により住宅を取得した方に対する奨励金の交付をはじめ、結婚、出産、入学など人生の節目にお祝いを贈り、「ふるさといいで」への定住を推進します。





## 地球温暖化対策事業

新規

担当

住民税務課  
生活環境室

平成26年度予算額

60万円

平成25年度予算額 ー

再生可能エネルギーの導入を促進するため、町内の住宅における太陽光発電設備を設置する場合、その経費の一部を補助する事業です。

補助額は、60,000円を上限として、1kwあたり20,000円とします。なお、県の補助金交付決定が要件となります。

申請方法などの詳しい内容については、今後広報などでお知らせします。



## 農業集落排水事業

担当

地域整備課  
上下水道室

平成26年度予算額

4億3,917万円

平成25年度予算額 4億1,440万円

平成26年度は、添川二期地区の事業促進を進め、順次、宅地内排水とのつなぎ込みを進めていきます。また、手ノ子地区についても添川二期地区と並行して事業を進め、関係機関と連携して取り組んでいきます。

また、個別排水処理施設整備事業については、国の補助制度を活用し、引き続き合併浄化槽の普及促進を図り、生活環境の向上に努めます。



※本事業施設は、水環境保全にも寄与しています

## 林地残材集積強化事業

新規

担当

農林振興課  
農林整備室

平成26年度予算額

47万円

平成25年度予算額 ー

町内の民有地の間伐材（枝葉は除く）を、町が指定する集積所まで運んでいただいた場合、間伐材の量に応じてポイントが付与されます。ポイントをためることで、町内の商店などで使用できる商品券と交換できます。また、搬入された間伐材は、木質バイオマス燃料の原料などとして利用されます。

申請方法、付与ポイントなど、詳しい内容については、今後、広報などでお知らせします。



ペレットストーブに使用する木質ペレット

3

生きがいと笑顔のまちづくり

配食サービス事業

新規

担当

健康福祉課  
福祉室

平成26年度予算額

302万円

平成25年度予算額 -

新たに、ご高齢の方向けに弁当の宅配事業を実施するための仕組みづくりを検討、構築します。  
平成26年度と27年度の2年間にわたり、仕組みづくりのための検討会議を開催しながら、町内のモデル地区への宅配を実施し、その手法を検証し、それぞれの地区にあった体制を検討、整備します。  
事業を通じて、ご高齢の方の栄養改善と見守り活動を合わせて実施することで、生き生きと安心して暮らせる地域づくりに結び付けます。



予防接種事業

担当

健康福祉課  
健康医療室

平成26年度予算額

1,822万円

平成25年度予算額 1,878万円

病気に対して免疫の効果を得ることができるよう、予防に有効とされることが確認されているワクチン接種の事業です。  
平成26年度は、定期予防接種の対象として、10月から水痘、高齢者肺炎球菌ワクチンが新たに対象となります。それまでは従来どおり、高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成事業を行います。  
また、1歳から中学3年生までのインフルエンザ予防接種への補助を引き続き実施します。



デマンド交通事業

担当

住民税務課  
生活環境室

平成26年度予算額

1,380万円

平成25年度予算額 1,280万円

高齢者などの交通弱者を含めた全町民を対象に自宅から目的地まで乗り合いタクシー方式による送迎サービスを行う事業です。  
飯豊町にお住まいの方で利用登録された方であれば利用できます。詳しくは、飯豊町社会福祉協議会（72-3353）までお問い合わせください。

- ・ほほえみカー予約センター（86-2220）





## 第一小学校改築事業

担当

教育文化課  
学校教育振興室平成26年度予算額 **10億7,864万円**

平成25年度予算額 7,788万円

平成28年度の完成を目標として、第一小学校の改築事業を引き続き実施していきます。

平成26年度は、現在の体育館を残しながら、プール跡地とグラウンドの一部に仮設校舎を建設します。8月から新校舎完成までの間は仮設校舎での生活となりますが、子どもたちが安心して生活できるよう、快適性に配慮した仮設校舎を計画しています。仮設校舎完成後に現校舎の解体、新校舎の建設に着手していきます。



※イメージ図

## 文化財等利活用事業

担当

教育文化課  
生涯学習振興室平成26年度予算額 **603万円**

平成25年度予算額 79万円

平成26年度は、新たに文化財保護専門員を配置し、昨年度発掘された樗焼裏山窯跡の出土品整理や報告書作成を行うほか、町内の貴重な郷土資料の整理保存に取り組むとともに、指定文化財保護についても支援していきます。

また、地域史の学習機会の充実を図るとともに、文化財や郷土資料の保存・展示・活用などのあり方について、文化財保護審議会による調査や審議を充実しつつ、今後の方向性を検討していきます。



平成25年10月6日の樗焼裏山窯跡説明会の様子

## 第二小トリムコース新設事業

新規

担当

教育文化課  
学校教育振興室平成26年度予算額 **500万円**

平成25年度予算額 —

健康づくり、体力づくりとともに、身体と心の調和を目的としたトリムコースを設置します。第二小学校の敷地内に周囲と調和した周遊コースを整備します。

※トリムコースとは、健康、体力づくりや体と心の調和を目的に、楽しみながら体力と健康の増進ができるよう工夫されたコースです。



5

こだわりの産業づくり

工業振興事業

担当

商工観光課  
産業連携室

平成26年度予算額 **1億907万円**

平成25年度予算額 1億981万円

国の経済政策を受けて全国的には景況感が改善しつつあるものの、町内では誘致企業の工場閉鎖などもあり、雇用環境は厳しいものになっております。

平成26年度は、平成25年度に創設した中小企業振興事業費補助金等を活用して中小企業の活性化、雇用の拡大に努めます。



東山工業団地

6次産業化推進事業

新規

担当

商工観光課  
産業連携室

平成26年度予算額 **880万円**

平成25年度予算額 ー

米やアスパラガス、米沢牛などをはじめとする本町の農産物について、その魅力をPRし、ブランド力の向上へ結びつけるためにも加工や販売経路の拡大が必要です。

平成26年度は首都圏の商店街に販売・交流拠点を整備し、商店街や教育機関との連携を行いながら、農村と都市の交流や生產品、加工品の販売に向けた取り組みを試験的に行います。また関係機関と連携し、特産品の開発に向けた取り組みや支援を行います。



「飯豊・農の未来賞」事業

担当

農林振興課  
農業振興室

平成26年度予算額 **66万円**

平成25年度予算額 120万円

飯豊町は、農村の原風景とも言える散居集落を有しています。この美しい散居村を未来へつないでいくことを目的として、農業の未来を切り拓くための企画提案を募集し、本町の農業振興に反映させる「飯豊・農の未来賞」を創設しました。

平成26年度は、企画提案の内容を踏まえて、企画実現に向けた実証、検証を実施しながら具体化を図り、農業振興に活かしていくことにより、美しく活力のある町を未来に引き継ぐための取り組みを進めていきます。





## 太陽光発電設備導入事業

新規

担当

教育文化課  
まちづくり室

平成26年度予算額

3,200万円

平成25年度予算額 ー

飯豊町では、山形県市町村防災拠点再生可能エネルギー導入促進事業を活用して、大規模災害が発生した場合の避難所機能を有し、役場庁舎に次ぐ防災指令拠点施設である町民総合センター「あ～す」に太陽光発電設備等を設置して、災害時の拠点施設としての機能強化に努めます。

具体的には、施設に太陽光パネル、蓄電池などを整備するとともに、電気照明設備のLED化などを実施します。



設備の設置予定の町民総合センターあ～す

## 住宅リフォーム事業

担当

地域整備課  
建設室

平成26年度予算額

1,500万円

平成25年度予算額 1,500万円

飯豊町では、住宅における居住環境の質的向上を目的として、住宅の性能や耐震強度を向上させるリフォーム工事を支援します。

町に住所があり、自らが居住する持家住宅のリフォームまたは耐震改修の工事を行う場合、一定の要件の範囲で工事費に対して補助金を交付します。



## 老朽危険空き家対策事業

担当

住民税務課  
生活環境室

平成26年度予算額

1,337万円

平成25年度予算額 508万円

町民の安全安心や景観を守るため、町内にある老朽化した危険な空き家の解体撤去工事に対し、町が補助金を交付します。





7

## 持続可能なまちづくり

### 広報いいで発行事業

担当

総務企画課  
情報防災室

平成26年度予算額

371万円

平成25年度予算額 318万円

「広報いいで」は、町民の皆さんと行政をつなぐ大切なパイプ役です。行政情報を分かりやすく提供するとともに、皆さんの声を反映した紙面づくりを積極的に進めます。

また、本紙の特徴である“飯豊町に生きる人を応援する”紙面を継続し、充実の地域情報をよりタイムリーに発信します。町民の皆さんのまちづくりへの関心を高め、飯豊町に住んでいることへの自信、誇り、夢を育む「まちの情報紙」を目指します。



### 行政情報サービス提供事業

担当

総務企画課  
情報防災室

平成26年度予算額

104万円

平成25年度予算額 104万円

飯豊町では、さまざまな情報を町民のみなさんに、電子メールで「携帯電話」や「パソコン」に配信するサービスを行っています。現在実施している配信内容は、町執行選挙時の情報、災害時の情報、学校、幼児施設の保護者向けの情報、農業関係の情報、消防団員向け情報配信などです。

本年度は、町民の皆さんのニーズや利便性を考慮し、配信項目のさらなる拡充への検討を実施します。



### もっと詳しく知りたいときは

こちらで紹介した内容以外にも飯豊町では多くの事業を実施しています。この「予算のあらまし」のほか、広報紙やホームページ、毎月の配布物などで必要な情報を随時お知らせいたします。

また、記載の事業の詳しい内容については、それぞれの担当係までお問い合わせください。



# ★ 地域づくり推進事業補助金を活用 した各地区の取り組みを紹介します

平成23年度から25年度までの主な取り組み（25年度は見込を含む）

## 中

- ・公園遊具設置事業
  - ・環境整備事業（ホタルの里づくりなど）
  - ・イベント事業（中村夏祭り）
  - ・自主防災組織育成事業（資機材整備）
  - ・広報紙発行
  - ・景観整備事業（ふるさと展望台整備）
- など

## 萩生

- ・環境美化事業（植栽など）
  - ・中ノ目の歴史編纂事業
  - ・自主防災資機材整備事業（資機材整備）
  - ・イベント事業（萩生城跡公園祭り）
- など

## 黒沢

- ・環境美化事業（植栽など）
  - ・動力噴霧器購入（防虫駆除等）
- など

## 椿

- ・環境美化事業（植栽、公園美化など）
  - ・地区活性化対策調査事業
  - ・農産物加工施設整備事業
  - ・公園周辺里山整備調査事業
  - ・イベント事業（つばき雪あかりの路）
- など

## 小白川

- ・自主防災会組織整備事業（資機材整備）
  - ・環境美化事業（植栽など）
  - ・伝統文化の継承（子ども獅子舞）
- など

## 東部

- ・環境美化事業（植栽など）
  - ・眺山地内景観整備
  - ・各種お祭り、ブルーベリーの植栽、管理
  - ・遊休農地利活用事業
  - ・雪灯籠、雪像、イルミネーション事業
- など

## 手ノ子

- ・旧宇津峠遊歩道整備事業
  - ・スキー場周辺環境整備
  - ・ホタルの里づくり事業
  - ・八幡山桜の森整備事業
  - ・広報紙発行
  - ・豊かな家庭づくり事業（郷土伝統料理）
- など

## 高峰

- ・各地区公民館周辺整備事業
  - ・桜の植樹
  - ・花壇の整備
  - ・危険支障木の撤去
- など



## 中津川

- ・ふるさと山村留学事業
  - ・健康味噌づくり
  - ・環境美化事業（植栽など）
  - ・地区内青年育成事業
- など

# ★ 行財政改革への取り組み

将来にわたって安定した行財政運営を確保するために、平成23年3月に「飯豊町第4次行財政改革大綱」を策定し、毎年進捗状況を確認しながら着実な数値目標の達成を目指します。

平成27年度  
までの5年間で  
4億7,000万円  
の削減目標

## 定員適正化計画

職員数と給与水準の適正化に努めるほか、業務の効率化による時間外勤務等の削減に努めます。

## 実施計画、行政評価

第4次飯豊町総合計画（平成23年度～平成32年度）における事業計画の進捗や効果を確認し、見直しを含めたローリングにより、効果的な町民サービスの確保に努めます。

## 開かれた行政運営

地域づくり座談会などの広聴事業、計画策定時のパブリックコメント実施、町広報紙、ホームページの充実、メール配信などによる情報の発信に努めます。

# ★ 財政の健全度

財政の健全度は、健全化判断比率と呼ばれる数値で判断することができます。現在のところ飯豊町の数値はいずれも「問題なし」という結果になっています。しかし、自主財源の乏しい財政状況から、より計画的な財政運営が求められており、長期的な視点で財政運営を行ってまいります。

|                  | 飯豊町の健全化判断比率 |        |        |               | 危険度判断の基準    |            |
|------------------|-------------|--------|--------|---------------|-------------|------------|
|                  | H22決算       | H23決算  | H24決算  | H25決算<br>(見込) | 早期健全化<br>基準 | 財政再建<br>基準 |
| 実質赤字比率<br>(※1)   | (赤字なし)      | (赤字なし) | (赤字なし) | (赤字なし)        | 15%         | 20%        |
| 連結実質赤字比率<br>(※2) | (赤字なし)      | (赤字なし) | (赤字なし) | (赤字なし)        | 20%         | 30%        |
| 実質公債費比率<br>(※3)  | 12.9%       | 11.6%  | 10.4%  | 10.2%         | 25%         | 35%        |
| 将来負担比率<br>(※4)   | 58.7%       | 44.4%  | 28.2%  | 25.7%         | 350%        | —          |

(※1) 実質赤字比率とは、一般会計等の実質的な赤字を標準財政規模で割った数値です。

(※2) 連結実質赤字比率とは、全会計(一般会計等+公営事業会計)の実質的な赤字を標準財政規模で割った数値です。一般会計だけでなく、特別会計が赤字となる可能性もあるため、連結して指標としています。

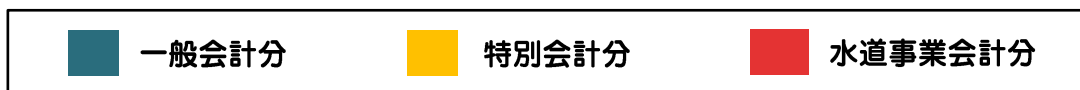
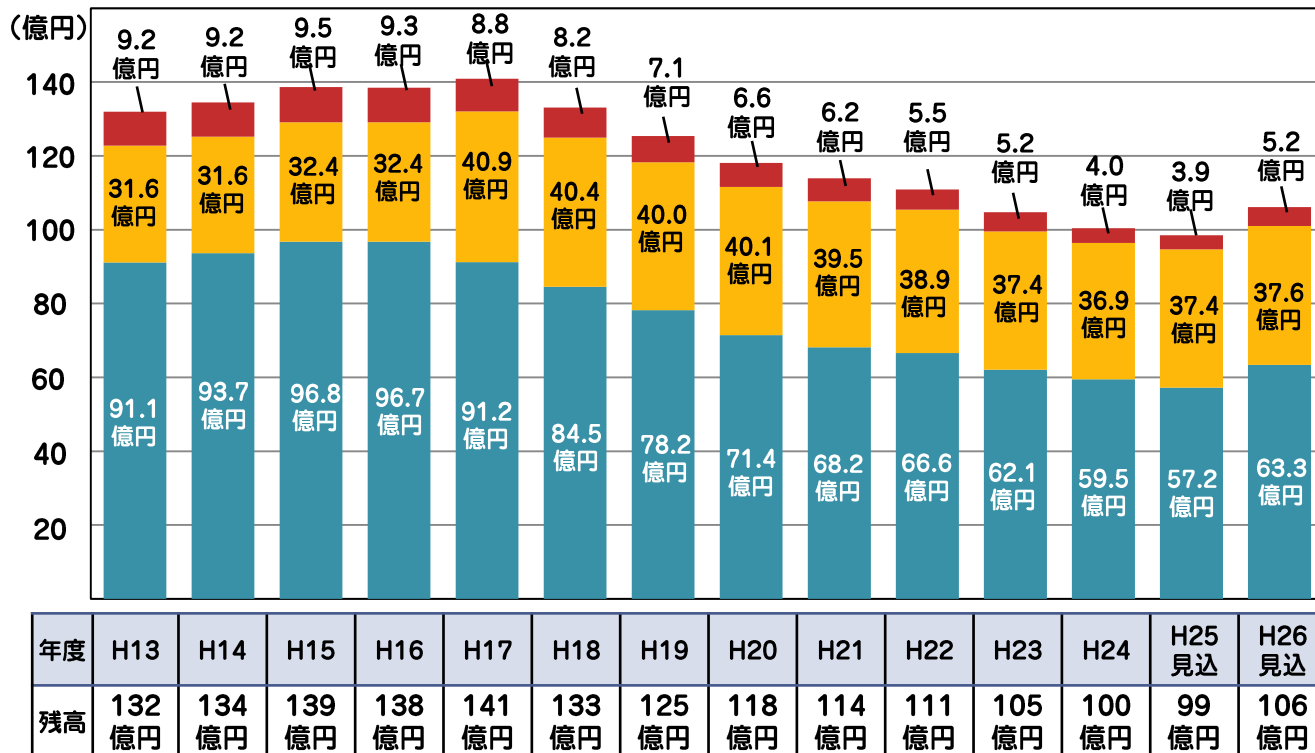
(※3) 実質公債費比率とは、一般会計等が負担する借入金の返済分が標準財政規模でどの程度あるかを示した指標です。

(※4) 将来負担比率とは、一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率です。



## ★ 町債残高の推移

一般会計と特別会計を合わせた町債残高は、平成17年度をピークに約141億円の残高がありましたが、その後は減少に転じています。平成26年度は一般会計分、特別会計分とも投資的経費が増加したことで、残高は前年度と比較して7億6千万円余り増加する見込みです。



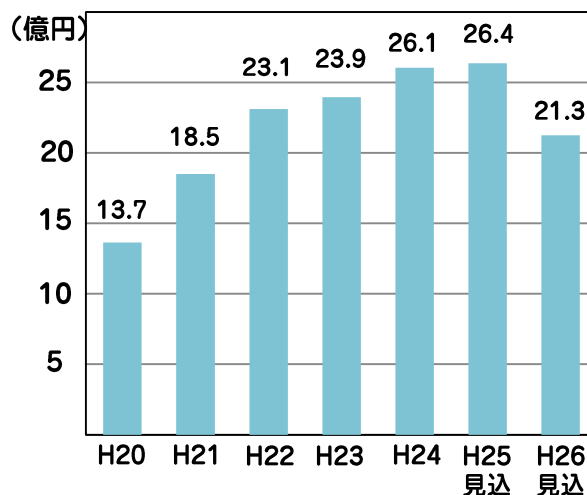
※各会計の規模や内容については、1ページの「予算について」をご覧ください。

## ★ 基金について

特定の目的に使用するためや、不況による税収減、災害の発生などの予期しない経費の支出などに対応するために計画的に基金の積み立てを行っています。

主な基金は、財源の不足などの調整を図るための財政調整基金、町債の財源を確保し、円滑な償還のための減債基金、公共施設の整備にあてる公共施設整備基金などがあります。

財政調整基金、減債基金、特定目的基金の合計残高



※平成20年度から平成24年度は決算残高、平成25、26年度は見込額を計上しています

## 平成26年度 飯豊町の予算のあらまし

- 発行年月 平成26年4月
- お問い合わせ先 飯豊町役場 総務企画課 総合政策室  
〒999-0696  
山形県西置賜郡飯豊町大字椿2,888番地  
電話 0238-87-0521（直通）
- ご意見をお寄せください 電子メール  
iide-info@town.iide.yamagata.jp

もっと詳しく知りたい方は

飯豊町 平成26年度当初予算

検索

表紙写真：平成24年度 心の古里フォトコンテスト最優秀賞「染まる連峰」撮影：齋藤 徹 氏



the most beautiful  
villages in japan

飯豊町  
山形県

飯豊町は「日本で最も美しい村  
連合」に加盟しています。